

「神戸市外国語大学」
2015 年度行事・事業記録

神戸市外国語大学

目 次

4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページリニューアル、スマートフォン用サイト作成 4 ・ 日本語プログラム（春学期）開講 4 ・ オープン・セミナー前期の開講 4 	
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウラル大学（ロシア）と学生交流協定を締結 4 ・ クバン国立大学（ロシア）と学生交流協定を締結 5 ・ 北京語言大学（中国）と学生交流協定を締結 5 	
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国連アカデミック・インパクトへ加盟 5 	
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ York St. John University（イギリス）と学生交流協定を締結 6 ・ Southern Cross University（オーストラリア）と学生交流協定を締結 6 ・ 地域の方向け図書館ツアーを実施 6 ・ オープンキャンパス開催 6 ・ イングリッシュ デイズ イン外大を開催 7 <ul style="list-style-type: none"> 「2015English Summer School」（市内中学生、本学学生、ALT の交流事業） 「小学校外国語活動基本研修」（小学校教員への英語教授方法などの研修事業） 「中学校・高等学校英語科教員スキルアップ研修」（中高校教員への研修事業） ・ 本学学生が「トビタテ!留学 JAPAN 日本代表プログラム」に採用 7 	
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語プログラム（秋学期）開講（外国人留学生 15 名が受講） 7 ・ 大学説明・個別相談会を実施 7 ・ 東京外国語大学院との合同セミナーを開催 8 ・ オープン・セミナー後期を開催（6 講座開講） 8 	
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ スイスベルン大学 Institute of Linguistics(スイス)と学術協力協定を締結 8 ・ 全国外大連合とラグビーワールドカップ 2019 組織委員会との協定締結 8 ・ 市民講座「日本社会はどこに向かうのか」を開催 8 ・ GAIDAI Chat をリニューアル 9 ・ 留学生と在学生の交流イベントを実施 9 ・ KCUFS スーパープレゼンテーションを実施 9 	
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学学生チームが模擬国連チェコ大会に参加 9 ・ 国際セミナー「現代スラヴ・アспект研究の動向」を開催 10 ・ 第 4 回 イングリッシュ・フェスティバルを開催 10 ・ 東町小学校の児童が本学教員・学生に英語でインタビュー 10 ・ スポーツ GOMI 拾い大会 in 学園都市を開催 10 	

12月	・第5回全国大学生マーケティングコンテスト開催	11
	・ALT（英語指導助手）らと連携したクリスマスチャリティーイベントを開催	11
1月	・パネル展示「写真に見る神戸市外国語大学70年」を実施	11
	・模擬アメリカ体験イベント「”Welcome to Mock America”～英語のくらしに ワープしよう」を開催	12
	・異文化体験イベント「世界のバレンタインを見てみよう」を開催	12
2月	・TOEIC 成績優秀者表彰式を開催	12
3月	・駐日ジャマイカ特命全権大使が本学を訪問	13
	・模擬国連世界大会ニューヨーク大会へ参加	13

4月

■ ホームページリニューアル、スマートフォン用サイト作成

2015年4月1日、神戸市外国語大学ホームページをリニューアル。より見やすく、使いやすくするためにデザイン等を改良。「【スマホ編】全国大学サイト・ユーザビリティ調査 2015-2016」(日経BPコンサルティング)の総合スコアランキングで19位となった。本学では、これからもホームページの内容を充実させ、大学情報の提供に取り組んでいく。



■ 日本語プログラム(春学期)開講

本学では、2008年9月より「日本語プログラム」を開始し、交流協定締結校などからの留学生の受け入れを行っている。春学期は、カナダ・アメリカ・ドイツ・韓国・ブラジルからの外国人留学生16名が受講。留学生は、各々の日本語レベルに合わせた授業を履修した。

■ オープン・セミナー前期を開講

本学では、2008年度より、知的関心の高い地域の方々の多様な期待に応え、少人数でより専門性の高い講義を提供することを目的とし、「オープン・セミナー」を年2回開講している。2012年度以降は、神戸国際協力交流センターとの共催で、新たに1講座を三宮で開講。

本年度前期は、「20世紀アメリカのポピュラー・ミュージック文化を発見する」、「ロシア語入門1」の2つの語学講座と、「ザビエルの故郷バスクー伝統スポーツからみえる生活と文化」、「グローバルビジネスの本質と構造ー経済・政治から読み解く」、「国際共通語の歴史と思想」(中央区神戸国際協力交流センターで開催)、の3つの教養講座を開講し、90名が参加した。

5月

■ ウラル大学(ロシア)と学生交流協定を締結

ロシア連邦中央部にある大都市エカテリンブルグに位置し、100年近い歴史を持つ、ロシア国内で10位に入る大学である。学士・修士・博士課程合わせて350ものプログラムがあり、卒業生数は300,000名以上、そのうち留学生数は60カ国、30,000人にもものぼる。当協定により、2016年度からウラル連邦大学の「外国人のためのロシア語プログラム」で学習し、ウラル連邦大学の学生は、本学の「日本語教育プログラム」で学習する。



■クバン国立大学（ロシア）と学生交流協定を締結

クバン国立大学はロシア南部クラスノダールに位置する 1920 年創立の大学で、ロイター通信の大学ランキングによると、ロシア全体で 10 位、大学が位置するロシア南部連邦管区内では 1 位、全世界では 314 位である。ロシアの主要な教育機関のひとつで、2002 年にはロシア・スイスビジネス協会の金賞（ビジネス評価部門）を受賞、2004 年と 2005 年にはヨーロッパ品質賞の金賞を受賞している。当協定により、本学学生は 2016 年度からクバン国立大学の「ロシア語プログラム」で学習し、クバン国立大学の学生は、本学の「日本語教育プログラム」で学習する。



■北京語言大学（中国）と学生交換協定を締結

両大学は、2011 年より学生交流および教員交換を行っていたが、この度、学生交換も開始する運びとなった。当協定により、2016 年度から本学学生は北京語言大学の「漢語学院」で学習し、北京語言大学の学生は、本学の「日本語教育プログラム」で学習する。



7月

■国連アカデミック・インパクトへ加盟

2016 年（平成 28 年）11 月に、本学創立 70 周年記念事業として「模擬国連世界大会」の誘致を実現するなど、国連との関係が緊密になっているなか、その一環として、このたび国連が提唱する「アカデミック・インパクト」への加盟が実現。

国連アカデミック・インパクトとは国連と世界の大学を結ぶパートナーシッププログラムとして、国連広報局が 2010 年 11 月に開始した取組み。世界各国の 1,000 校以上の大学等が加盟している。

2016 年 11 月に実施する「模擬国連世界大会」の誘致成功を一つの契機として、国連アカデミック・インパクトへの本学の加盟が実現したものである。本学では、模擬国連に関する取組みや、NPO・NGO 研究、近隣の小中高校の英語教育支援、世界の紛争問題に関する取組み、留学の促進、世界のさまざまな課題に取り組む学生サークル活動など、国連のめざす理念と合致するさまざまな取組みを行っている。

「国連アカデミック・インパクト」に加入することにより、国連の広報媒体を通じて本学の情報が国内外に発信され、また国内 30 校、世界全体で 1,000 校以上に及ぶ他の加盟校とのネットワーク構築も期待できる。

8月

■ York St.John University (イギリス) と学生交換協定を締結

York St.John University はロンドンやエンジバラから2時間のところにある観光地の York に位置。学生数 6000 人のうち 7% が留学生で、人文学部、教育学部、健康科学部、経営学部の 4 つの学部がある。当協定により、本学学生は 2016 年度から York St.John University の学部課程で学習し、York St.John University の学生は、本学の「日本語教育プログラム」で学習する。



■ Southern Cross University (オーストラリア) と学生交流協定を締結

Southern Cross University のメインとなる Lismore (リズモア) キャンパスは、ゴールドコーストから車で約 1 時間半の内陸に位置する、ニューサウスウェールズ州 Lismore (人口 46,000 人) の自然豊かで広大なキャンパスである。その他に、Gold Coast キャンパスや Coffs Harbour キャンパスがあり、学生サポート体制についての大学評価ランキングでは、2013、2014 年の 2 年にわたり、国内で一位を獲得している。当協定により、本学学生は 2016 年度から Southern Cross University の学部課程で学習し、一部授業料が減額となる。



■ 地域の方向け図書館ツアーを実施

「まちづくりスポット神戸」主催による図書館ツアーを開催。大学の概要をはじめ、図書館や市民利用制度についての案内のほか、書庫やセンター長室など、普段は入れない場所へも入り、“稀覯本”の紹介も行った。

■ オープンキャンパスを開催

8月9日と23日に開催したオープンキャンパスには過去最多となる4,700名の方が来場。今年も、学生スタッフが催しものや、誘導などさまざまな場面で活躍した。ウエルカムステージでは、歌とダンスで来場者の方を歓迎し、キャンパスツアーでは学生生活の紹介を交えながら学内を案内した。アンケートでは「とても学生生活が充実していることが伝わりました」など、好意的な意見が多数見られた。今後とも、学生とともに教職員一体となり魅力的なオープンキャンパスを開催していく。



■ イングリッシュ・デイズ in 外大を開催

8月18～20日にわたり、本学において、神戸市教育委員会との連携のもと「2015 English Summer School」、「小学校外国語活動基本研修」、「中学校・高等学校英語教員スキルアップ研修」の3つの事業を開催した。

「2015 English Summer School」には過去最多の約580名の中学生が参加。ALT（外国人英語指導教員助手）との英語による会話や、本学の在学学生によるプレゼンテーションなどがあり非常に活気に満ちていた。

また、「小学校外国語活動基本研修」では、小学校教員への英語教授方法などの研修事業を実施。「中学校・高等学校英語教員スキルアップ研修」では、中学校・高等学校教員に対し、指導法向上のための研修を行った。



■ 本学学生が「トビタテ!留学 JAPAN 日本代表プログラム」に採用

2014年度に創設された「官民協働海外留学支援制度～トビタテ!留学 JAPAN 日本代表プログラム～」に本学の英米学科4年生 尾立憲彦さんが採用された。

同制度は、海外での「異文化体験」や「実践」を焦点にした留学を推奨し、各領域でリーダーシップを発揮する多様な人材を育成することを目的として設立されたもの。「世界トップレベル大学等コース」に採用された尾立さんは、アメリカのニューヨーク州イサカ市にあるコーネル大学に長期派遣留学生として1年間留学する。留学に向けての意気込みや今後の目標等について、船山学長及び指導教員である L,ゼネック西出准教授と懇談し、実り多い留学になるよう激励を受けた。



9月

■ 日本語プログラム（秋学期）開講

9月10日より秋学期の日本語プログラム（JLP）を開始した。アメリカ、ドイツ等より留学生を迎え、今期のJLP留学生は15名となった。さまざまな行事を交えながら主に日本語の勉強を行う。

■ 大学説明・個別相談会を実施

職員や外大生が個別相談会、大学入試説明会、就職説明会、留学体験談、合格体験談、模擬授業のイベントを実施した。

■ 東京外国語大学大学院との合同セミナーを開催

このセミナーは、本学と東京外国語大学との間で2009年に締結した教育・研究交流協定に基づいており、今回で6回目の開催。本学からは博士課程3年の李藝さんによる研究発表「非情物主格・行為者二標示受動文ーコーパス上の実例に基づくー考察」と福田嘉一郎教授による小講義（「日本語のテンスについて」）があり、東京外国語大学からは、大学院生の張舒鵬さんによる研究発表と川村大教授による小講義があった。活発な質疑応答や意見交換がなされ、研究交流を深めることができた。



■ オープン・セミナー後期を開催（6講座開講）

本年度後期は、「英語で読む20世紀イギリスの歴史」、「ロシア語入門2」の2つの語学講座と、「天文学～宇宙の光～」 「アジアの文字とことばの世界」 「バイリンガリズムと第二言語習得」（中央区神戸国際協力交流センターで開催） 「米国はいかなる国かー米国史を学び直す」（神戸駅前兵庫県立神戸生活創造センターで開催）、の4つの教養講座を開講し、101名が参加した。

10月

■ スイスベルン大学 Institute of Linguistics（スイス）と学術協力協定を締結

研究と教育における協力を促進し、研究者、教員の交流を推進するのを目的に5年の締結を結んでいる。言語学及びアジア研究の分野における相互協力や共同研究プロジェクトに参加する研究業績が豊富な研究者の交換などが協定の主な内容となる。今後、言語学の分野においても、共同研究の促進が期待される。

■ 全国外大連合とラグビーワールドカップ2019組織委員会との協定締結

本学など全国7つの外国語大学が加盟する全国外大連合と協定を締結。この協定は、2019年に開催するラグビーワールドカップ大会の成功に向け、全国外大連合と組織委員会が人的及び教育、研究の分野等で相互に連携・協力体制を構築することを目的としている。



■ 市民講座「日本社会はどこに向かうのか」を開催

一般市民の方々の興味のある総合テーマを取り上げ、本学教員等による市民講座を昭和46年(1971年)より毎年開催。今年度は、10月3日から10月28日にわたって開講。「日本社会はどこに向かうのか」というテーマのもと、本学教員8人によるリレー形式の講義を行った。「日銀の異次元金融緩和について」「変化する日本の賃金制度～過去と現在～」などがテーマとしてとりあげられ、372人が参加した。

■ GAIDAI Chat をリニューアル

留学生や神戸市内の学校で英語授業の補助を行う外国語助手(ALT)と外国語でおしゃべりする場を提供している。

この度、新企画を続々と取り入れ、大きくリニューアル。「留学生Chat」は英語・ロシア語・中国語・スペイン語を含む8言語でほぼ毎日開催している。



■ 留学生と在学生の交流イベントを実施

学生スタッフが中心となり、交流イベントを企画・運営。たくさんの花が咲き乱れる布引ハーブ園、鉄腕アトムの作家として有名な手塚治虫記念館の2カ所を観光。参加者は、留学生11名と日本人学生16名の合計27名でわきあいあいとした雰囲気でした。



■ KCUFS スーパープレゼンテーションを実施

10月31日、三木記念会館にて神戸市ALTの協力を得てKCUFSスーパープレゼンテーションを開催した。今年度は外大生2名に加えて卒業生や専合高校生を発表者として迎え、「同時通訳者とは」「次世代の英語教育」「平和の尊さ」「模擬国連」等のテーマのもとプレゼンテーションを行い、それらについてALTと英語でグループディスカッションを行った。参加者からは「堂々と発表するプレゼンターの姿に感銘を受けた。」「さまざまな意見を聞き、視野を広げられた。」といった声が寄せられた。

11月

■ 本学学生チームが模擬国連チェコ大会に参加

11月22日から28日の7日間、チェコ共和国オモロウツ市にて開催された模擬国連世界大会に12名の学生が参加した。学生らは、2チームに分かれ、ヨルダン・ハシミテ王国と大韓民国の代表として、4つの国際会議に担当国大使としてそれぞれ参加した。世界各地から300名を超える大学生や大学院生が集まり、それぞれが担当国の大使として、現代の国際社会が抱える諸問題について熱い議論を交わし、本学学生ヨルダンチームがHonorable Mentioned Delegation賞を受賞するなど、大いに活躍した。



閉会式では、本学の学生代表が来年2016年に本学を主催校として開催するNMUN-Japanに向けた意気込みを述べ、会場は大いに盛りあがった。

■国際セミナー「現代スラヴ・アспект研究の動向」を開催

本学では、11月13日から15日に京都産業大学で開催された国際スラヴィスト会議アспект研究部門主催第5回国際アспект会議に併せて、11月16日に国際セミナーを開催。三部形式で行われ、司会者によるテーマ導入を兼ねた研究史概略のスピーチがあり、ロシア人研究者の方々から基調講演がありました。4名のパネリストを中心に、活発な質疑応答や意見交換がなされました。

■第4回イングリッシュ・フェスティバルを開催

11月14日、本学大ホールにて、第4回イングリッシュ・フェスティバルを開催。これは、学校の授業で習得した英語を活用することを通じて、英語のコミュニケーション力や国際性を育てることを目的としている。当日は、ALT、市内の中学生のほか、神戸に住む同年代の外国人学校の生徒も参加し、「Bosai（防災）～私たちにできること～」のテーマのもと、さまざまな切り口で英語によるプレゼンテーションを行い、交流を図った。



■東町小学校の児童が本学教員・学生に英語でインタビュー

11月18日東町小学校の児童約158名が来学した。模擬授業では、いつもとは雰囲気の違い大教室でプロジェクターを使った大学の授業を体験。また、外大生をリーダーとする小学生4～5人のグループに分かれ、個人研究室や教室、学生会館、図書館、体育館などで教職員や外大生に英語でのインタビューを行った。参加した小学生は、初めは緊張した様子だったが、インタビューの後は、「みんながとてもやさしく受け答えしてくれた」と楽しそうに話していた。



本学では2004年に大学院英語教育学専攻に自動英語教育コースを設置して以来、学生を同小学校に週1回派遣するなど、英語活動の支援を行っている。

■スポーツGOMI拾い大会in学園都市を開催

地域住民の方々と本学学生の顔が見える関係作りができるようにと11月23日に開催。「スポーツGOMI拾い大会」は定められた競技エリア内で制限時間内に拾ったゴミの種類と量をポイント化し、優勝を競い合う環境に優しいスポーツで21チーム87名が参加し、本学学生スタッフもボランティアとして活躍。参加学生からは「学生と地域の方々とが楽しそうに交流しているのを見ると、このボランティアの目的は達成されたと思います。自分自身も楽しむことができました。またこのような企画があるなら、ぜひ参加したいと思いました。」といった声が寄せられた。



12月

■第5回全国大学生マーケティングコンテストを開催

12月12日、本学大ホールで第5回全国大学生マーケティングコンテストを開催した。今回で5回目となるこの大会は、学生の創造力、企画力、発信力、英語力などが向上することを目指し、本学生の運営委員会が中心となって自主的に企画・運営を行っている。今年は神戸市と包括連携協定を締結しているキリン株式会社よりいただいた「『午後の紅茶おいしい無糖500mlペットボトル』の販売促進戦略」と「『メッツコーラ480mlペットボトル』の販売促進戦略」を課題にマーケティングプランを企画し、英語でプレゼンテーションを行った。どのチームもアイデアに溢れた完成度の高いプレゼンテーションであった。優勝は甲南大学のTeam Gogo CUBE from、2位は慶応義塾大学のTeam Men's Onon-no、3位は関西大学のTeam MENS Cola、コンプライアンスキャンペーン特別賞として近畿大学のTeam Roopowが受賞とらった。



■ALT(英語指導助手)らと連携したJETプログラム クリスマスチャリティーイベントを開催

JET プログラムとは、「語学指導等を行う外国青年招致事業」(The Japan Exchange and Teaching Programme)の略称であり、総務省、外務省、文部科学省及び財団法人自治体国際化協会の協力の下、地方公共団体が実施している事業で、ALT や CIR (国際交流員)が構成する。12月19日・20日、神戸地区のJETプログラム参加者の会と本学が合同でクリスマスチャリティーイベントを開催した。キャンパススクエア「ユニバードーム」にてクッキー等の販売やクリスマスキャロルの合唱が行われた。チャリティーイベントの収益で購入したプレゼントが「あおぞらのいえ」のこどもたちに贈呈され、プレゼントの残金は神戸市福祉養護施設連盟に寄付された。



1月

■パネル展示「写真に見る神戸市外国語大学70年」を実施

創立70周年を迎え、その歴史を振り返り、今日を考え、明日への更なる飛躍を願い、6月4日(土曜)の記念式典を始め、さまざまな行事等を実施する予定。その一環として、「写真に見る神戸市外国語大学70年」の展示を、図書館ロビーにて行っている。今回は神戸研究学園都市移転(1986年春)前の六甲学者の写真を中心としている。



■擬似アメリカ体験イベント「”Welcome to Mock America”～英語のくらしにワープしようを開催

1月30日、教員養成課程科目「教職実践演習」を履修している学生11名による「擬似アメリカ体験”Welcome to Mock America”」を開催しました。当イベントは岡本義裕准教授の指導のもと、「グループメンバーで共同し、プロジェクトの過程を実際に辿り、自らが教職に就く上での課題などについて考える取り組み」という授業の目的に向かって、半年以上かけて企画し、高校生を対象として行われました。参加者は4、5名のグループに分かれ、グループごとにアメリカのさまざまな場面をシチュエーションした4つのブース（Cinemaブース、shoppingブース、Easterブース、Emergency911ブース）を体験していきます。参加学生からは「英語だけの会話ができて、実際にアメリカに行った気分になることができました」や「アメリカの文化に触れることができたし、興味をもててよかった」といった声が寄せられた。



■異文化体験イベント「世界のバレンタインを見てみようを開催

1月30日、教職課程科目「教職実践演習」履修の学生18名の主催により、異文化体験イベント「世界のバレンタインを見てみよう」を開催。本学学生が海外経験・外国語の知識を生かし、より多くの方に異文化への興味を高めてもらうことを目的とした内容で、お子様から大人まで楽しんでいただけたイベントとなった。イベント内容としては、世界各国のバレンタイン文化を学べる掲示、外国語でバレンタインのメッセージカード作成、世界各国の言語で書かれたオリジナルカードをプレゼント、参加者全員へチョコレートのプレゼントなど盛りだくさんのイベントとなった。



2月

■TOEIC 成績優秀者表彰式を開催

2月1日に、2015年度 TOEIC 成績優秀者表彰式を開催。当制度は2011年度に創設され、今回の表彰式が5回目となった。今回900点以上の成績を申告した学生は54名で、そのうち国際関係学科の勝田梨聖さんとカマエフ・ニキータさんが、990点満点を獲得した。表彰式には34名が出席し、船山学長、山口学生支援部長より一人ひとりに表彰状と図書カードが授与された。



3月

■駐日ジャマイカ特命全権大使が本学を訪問

3月15日、駐日ジャマイカ特命全権大使のリカード・アリコック氏が本学を訪問され、3月末にニューヨークで開催される「模擬国連世界大会」にジャマイカ代表団の役割で参加する学生らに激励の言葉をお寄せいただいた。当日は、ジャマイカの社会や経済状況等についてお話を伺い、ジャマイカ代表団として事前準備を行うに際し、ジャマイカの実情を正確に把握するため、意見交換を行った。

■模擬国連世界大会ニューヨーク大会へ参加

3月27日～31日に開催された、約6千人規模の世界最大の模擬国連であるNMUN 模擬国連ニューヨーク大会に本学学生15名が参加した。2016年11月に神戸で開催される世界大会のPRを行うため本学の船山仲他学長が国連総会ホールで行われた閉会式に出席し、神戸大会への参加歓迎のスピーチを行った。このスピーチに先立ち、神戸での世界大会で学生事務総長役を務める本学国際関係学科の谷幸穂さんが学長を紹介した。



本学学生は連日、世界から参加した学生たちと議論・交渉を行い、優れたパフォーマンスが評価され、閉会式において2つの賞（Outstanding Position Paper 賞、Distinguished Delegation 賞※）を受賞した。

※Distinguished Delegation 賞：本学チーム全員が受賞。模擬国連での討議から決議案採択に至る全過程でのパフォーマンスに対する賞。上位10%のチームのみが受賞対象となり、そのうち「銀賞」に相当する名誉な賞で、本学学生のみチームが受賞したのは初めての快挙。